

(作成年月日) 2025 年 4 月 1 日

## (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 総胆管結石性胆管炎に対する緊急 ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)が深夜施行を回避できるかを調べる後ろ向き研究

### [研究の目的]

総胆管結石性胆管炎は昼夜問わず発症し、緊急受診から早期の内視鏡介入が望まれます。当院ではこれまで、総胆管結石性胆管炎に対して診断後可能な限り早急に緊急 ERCP を行ってきました。しかし深夜帯に行われる緊急 ERCP は日中の施行と比較して周囲環境や人的問題から様々なリスクが増加すると考えられます。そこで今回、当院で総胆管結石性胆管炎に対して行われた緊急で ERCP を受けられた患者さんについて緊急受診から内視鏡介入までの待機時間と治療成績等を比較することにより深夜帯の緊急 ERCP 施行が回避可能か検討することを目的としています。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

2021 年 4 月から 2024 年 12 月の間に当院で総胆管結石性胆管炎に対して緊急で ERCP を受けられた患者さんを対象としています。

#### ○利用する情報

性別、年齢、血液検査所見、画像検査、治療内容、胆管炎重症度分類、  
緊急 ERCP の待機時間、処置時間、在院日数、偶発症の有無、偶発症内容、治療後経過

#### ○上記情報の利用開始予定日

香川大学医学部倫理委員会承認日

### [研究組織]

香川大学医学部 肝・胆・膵内科学先端医療学講座 客員准教授 小林聖幸

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部 肝・胆・膵内科学先端医療学講座

担当医師 小林聖幸

電話 087-891-2156 FAX 087-891-2158